

# ジョイ・オブ・ワーク ～ 究極の人材育成 ～

## 1990年代米国復活劇の真実、 全米を熱狂させた、伝説の「デミング4日間セミナー」

1980年代、絶好調の日本企業に対して米国企業は青色吐息の状態でした。その後、日本が「失われた10年」を通過する間に、米国企業は国際競争力の回復に成功し、日本は再び米国の後塵を排する状況に戻りました。日本企業が我が世の春を謳歌する一方で、米国は成功する日本企業の研究を重ねていたのです。その過程で米国が発見した米国人デミング博士の名前。改めて白羽の矢を立てられたデミング博士の指導の下、全米各地で精力的に開催された「デミング4日間セミナー」により米国企業は復活し、再び日本を凌駕したのでした。戦後日本経済の復興を指導したデミング博士が、奇しくもその後の米国企業の再生の立役者となったという、この驚くべき事実については、日本ではほとんど知られて来ませんでした。



## デミング経営哲学がめざす「ジョイ・オブ・ワーク」の理念

今回お招きする吉田耕作博士は、このデミング博士の右腕として米国企業の指導にあたり、歴史的な米国復活劇の現場を目撃した稀有なご経歴をお持ちです。ご講演では、米国企業の再生に重要な役割を果たしたデミング経営哲学に基づく「ジョイ・オブ・ワーク」の理念と、それを実践し企業の競争力を向上させる手法である小集団活動「CDGM」についてご紹介いたします。

吉田耕作博士の講演会につきまして、下記の通り御案内申し上げます。多くの皆様の御参加をお待ちしております。

### ジョイ・オブ・ワークで期待される主な効果

- ☞ 仕事を楽しむ風土が醸成される
- ☞ 社員同士が信頼し、協調する意識が高まる
- ☞ 社員が自ら考え行動する
- ☞ 仕事の失敗から学んで再びチャレンジする

## 記

- ◆ **日時** 平成27年4月17日(金) 14:00-17:00
- ◆ **場所** (一財)企業活力研究所 大会議室  
東京都港区虎ノ門1-5-16 晩翠ビル6階



東京メトロ 銀座線 虎ノ門駅1番出口 徒歩1分  
東京メトロ 千代田線・日比谷線・丸ノ内線 霞ヶ関駅A12出口 徒歩4分

- ◆ **参加費** 無料
- ◆ **定員** 50名
- ◆ **プログラム**  
・講演『ジョイ・オブ・ワーク ～究極の人材育成～』  
・質疑応答
- ◆ **お申込方法**  
4月3日(金)までにFAXまたはE-mailでお申し込み願います。  
(申込者複数のときは、コピーしてご利用ください)
- ◆ **主催** (一財)企業活力研究所
- ◆ **お申込み・お問合せ先**  
(一財)企業活力研究所 (担当 関口、須藤)  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-5-16 晩翠ビル5階  
TEL : 03-3503-7671(代表)  
FAX : 03-3502-3740  
E-mail: cdgm@bpf-f.or.jp

## 吉田耕作博士 講演会申込書

FAX : 03-3502-3740

貴社名			
部署名・お役職			
お名前		TEL	
E-mail		FAX	

# 講師紹介

## 吉田 耕作

カリフォルニア州立大学 名誉教授  
ジョイ・オブ・ワーク推進協会 理事長

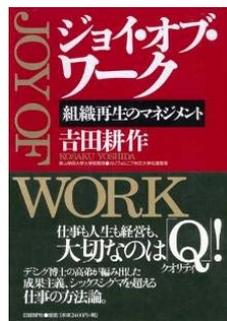
### デミング経営哲学を実践する手法、CDGM

吉田耕作博士は、1986年から1993年まで、デミング博士の右腕として米国の大企業や政府機関など多くの組織に「質と生産性と競争力」に関する指導を行い活躍しました。一方、バブル経済崩壊後の日本企業の荒廃に危機感を持ち、32年間の米国滞在に終止符を打って1997年に帰国しました。日本では、経営コンサルタントとして大企業のみならず中小企業の職場改善の指導をされ、その結果、多くの職場を明るく活気あるもの(ジョイ・オブ・ワーク)に変えてきました。

統計学者である吉田博士が提唱する新しい小集団活動(CDGM)は、統計的思考をとり入れた全体観的経営の考え方が特徴です。それは、組織の大小、業種に関わらず、従業員自ら職場の問題に向きあい考える機会を提供します。従業員の自発性と問題解決力を向上させることにより、職場の活性化という効果を生み、組織の競争力の強化につながります。

当研究所でもCDGMラウンドテーブルセミナーという形で、2006年以降企業からの参加チームを指導しています。無駄な時間を省くことによる実質的な営業時間の拡大、従業員の離職率低下を図るための現場での工夫など、製造業のみならず、商業・サービス産業の生産性向上につながる課題に取り組み、着実な成果がでております。

### 著書



- 「統計的思考による経営」(日経BP社)
- 「ジョイ・オブ・ワーク 組織再生のマネジメント」(日経BP社)
- 「国際競争力の再生」(日科技連出版)
- 「直感的統計学」(日経BP社)
- 「Elementary Statistics for Business and Economics」など多数

### 連載記事

日経ビジネスオンライン 統計学者吉田耕作教授の統計学的思考 <http://business.nikkeibp.co.jp/article/manage/20091008/206656/>

### 略歴

- 1975年  
ニューヨーク大学でデミング博士、モルゲンシュタイン博士に学び博士号(統計学)を取得。  
同年よりカリフォルニア州立大学で教鞭をとる。
- 1986年～1993年  
デミング博士のセミナー助手を務め、全米で「質と生産性と競争力」のコンサルタントとして政府組織から大企業まで指導。  
90年代の米国経済復活の基礎づくりに貢献。
- 1999年  
青山学院大学 国際政治経済学部教授  
日本において企業の指導をスタート。
- 2001年～2007年  
青山学院大学大学院国際マネジメント研究科(青山ビジネススクール)教授として、ビジネスパーソンを指導。
- 2007年  
ジョイ・オブ・ワーク推進協会設立。  
日本の企業の競争力を復活させるべく、日本の企業を多数指導している。

### 指導実績

- 【米国】  
米国連邦政府、米国防総省、カリフォルニア州政府、メキシコ石油公社、ヒューズエアクラフト など他多数
- 【日本】  
NTTデータ、NTTコムウェア、日本政策投資銀行、横河電機、NEC、キャノンビジネスサポート、コニカ、富士電機、日産自動車、日本たばこ産業、武田薬品工業、花王カスタマーマーケティング、ポーズ・オートモーティブ、ワークスアプリケーションズ、HOYA、HOYAヘルスケア、ナリカ、インパック、サカイ産業、ハイファイブ、東邦シートフレーム、滝上リハビリセンター、河合製氷冷蔵、あらいフードサービス、回生薬局、サムソン、ティー・ピー・エス など他多数

